

あの夜、2人のJPTA会員が益城にいました。

私は被害が大きかった役場周辺の木山地区から直線距離にして約4kmほど離れた県道を車で走行中でしたが、大きな轍にハンドルを取られたかのように、車が左右に何度も大きく蛇行しました。『バンク??』車を脇に止めたその瞬間、スマホから緊急地震速報の嫌な音が鳴り響き、初めてそれが地震だったと分かりました。

もう1人は熊本でフリーのコーチをしている澤村会員。彼は震度7のまさに真っただ中にいました。木山地区にあるコートでジュニアレッスンの終盤、彼は審判台に座りゲーム練習を見ている時に震度7に見舞われ、繰り返す大きな揺れで審判台ごと転倒してしまいました。

直後から県外の友人知人から連絡をたくさん頂き、その全てに「全然大丈夫!」と返事をしました。その時の被害は益城周辺が主で、我が家のある熊本市中央区は震度5強でしたが、家財の倒壊は多かったものの、比較的、大丈夫だった印象でした。

これは後に前震といわれる最初の震度7の時の出来事ですが、その28時間後にまた襲ってくるとは...

2回目(本震)の時は自宅に居ました。発生の数分ほど前に部屋の電気を消し寝るところでした。眠りに落ちかけたその瞬間、それまでの余震とは桁違いの大きさで、背中を「ドン!!」と突き上げられました。「やばい!全然違う。でかすぎる。」慌てて飛び起き、横揺れで転びそうになりながら、妻と子供達の寝る部屋に向かいました。その直後にスマホからのあの嫌な音と、キッチンの部屋から「ドン!ガシャン!パリン!」と棚が倒れ皿の割れる音が鳴り響き、1分?それ以上?というくらいの長い横揺れが続きました。自宅のある熊本市中央区は震度6強ということでしたが『死ぬかと思った』というのが正直な感想です。5強と6強はここまでも違う物なのかと思知らされました。

私は熊本市東区の熊本インター近くにあるテニススクールに勤務しております。幸いにしてコートやクラブハウスに目立って大きな損傷はありませんでした。しかし、すぐ周辺では高速を跨ぐ跨道橋の落下、道路の崩壊、多くの墓石の倒壊、1階部分が完全に押しつぶされ倒壊寸前の6階建てほどのビルなど、鳥肌の立つ光景が至る所で見て取れました。

また当スクールは益城からも比較的近いので、生徒さんは益城からもたくさんいらっしゃっています。益城中学に通う子が「コーチ!家の風呂が露天風呂になったっすよ!!」と笑いながら言ってきた事や、地震のショックで未だに自宅で寝ることができず、車中泊を続けられている奥様。やはりこの奥様も私たちには笑いながら面白おかしく、「車中泊じゃなかよー!カプセルホテルったい!」と。みんな笑いながら言ってくるのがとても印象的でした。他にも自宅もお寺も全壊してしまったお寺の子や、自宅半壊でお父様が骨折の重傷にもかかわらず、市役所へお勤めの為、休む事もできずご苦労をされている方など、たくさんの方が大変な思いをされていました。



被害が大きかった益城や西原、南阿蘇など山間部での大規模な崖崩れや道路崩壊など、復旧に時間を要する箇所は多々ありますが、熊本県内の殆どが道路や水道等インフラの復旧、お店の再開など、日常を取り戻している印象です。しかしもっと細かく見てみると、客の激減で閑古鳥となった観光地の方、県外など遠方へ職場が変わった方、家の屋根や壁の修繕などでお悩みの方、住まいが損傷し引っ越したいが、現状では引っ越し先が見つからない方など、みんさん様々な問題と悩みを抱えていらっしゃると思います。

大津波による破局的で絶望的な被害。また、見えない凶器で故郷から人々を追い出した放射能。5年前、東北の方々は同じ大地震という出来事がきっかけで、たくさんの命や物、場所さえも失いました。その絶望感たるや想像を絶します。本当に今でも心が痛みます。

これはあくまでも私の私見で、ご批判もあるかもしれませんが、それと比べてみれば熊本は、色んなたくさんの方々の物が壊れ、傷つきましたが、様々な事が頑張れば修復できます。まだまだ泣き言を言っはられません!

しかし、そう思うと同時に、今回は熊本の中でも地方部で起ったあの規模の地震が都市部の直下で起きたらと思うと...日本に住む限り今回のような断層地震はどこでもあり得ますし、昨今では南海トラフの脅威もよく耳にします。

みなさん、どうか備えてください。

今回の震災を通じて辛い事もたくさんありましたが、同時に感動する事も本当にたくさんありました。日本中のたくさんの方々が支援物資の調達にご協力くださっている映像や、応援メッセージなどをSNSなどで知ったり、道路を走れば自衛隊をはじめ、各都道府県のパトカー、また各市町村役場の車、消防車、水道局、ゴミ収集車、ガス会社等を本当にたくさんお見掛けしました。たくさんの方々に助けて頂いていることへの感謝と、日本の底力と強さを痛感し、本当に何度も涙が出ました。

最後になりますが、震災に際し、たくさんの方々からの温かいご支援とご協力と、また日本プロテニス協会様には会費の免除等、多岐に渡りご配慮を賜りました事に心よりの感謝とお礼を申し上げます。ぜひ皆様も九州へお越しく下さい。

熊本・大分・オール九州でがんばるばい!!

熊本庭球塾 行森寛朗

